

『官能評価士テキスト』 正誤表

2011年11月 作成

ページ	行	誤	正
p.4	20行目	官能 <u>標</u> 価	官能 <u>評</u> 価
p.4	22行目 (第3節タイトル)	官能 <u>標</u> 価	官能 <u>評</u> 価
p.7	16行目	物理 <u>感</u> 量	物理 <u>感</u> 覚
p.10	最終行	(式の分子) $\Delta S_U = \Delta S_L$	(式の分子) $\Delta S_U \pm \Delta S_L$
p.15	1行目	知覚でき <u>で</u> いない	知覚でき <u>て</u> いない
p.15	1行目	<u>50</u> %近くに	<u>0</u> %近くに
p.21	11～12行目	錐体 <u>に</u> しかない。	錐体 <u>し</u> かない。
p.24	1行目	<u>非</u> 誘導領域	<u>被</u> 誘導領域
p.35	下から4行目	<u>以上</u> の強い味を	<u>より</u> も強い味を
p.45	図2-18中	<u>R</u> _d の確定	<u>S</u> _d の確定
p.87	9～10行目	…X, Yの組み合わせを <u>5組</u> , どちらか一方のみのセットを <u>5組</u> 作った。これら計10組を, ランダムな順序でパネルに提示し, 甘みの異同をたずねるという2点識別法で判定させたところ	…X, Yの組み合わせを <u>10組</u> 作った。これら10組をパネルに提示し, どちらの甘みが強いかをたずねるという2点識別法で判定させたところ
p.88	下から12行目	<u>2点比較法</u>	<u>2点試験法</u>
p.89	7行目 (「検定の方法」 枠内)	順序尺度以下の情報とみなす場合, 評定法について χ^2 検定の「独立性の検定」を行う。	下線部削除
p.97	9行目	X_{ij2}	X_{ij-}^2
p.135	図8-1の説明文	<u>1対2点比較法</u>	<u>1対2点試験法</u>
p.135	表8-5 回答数100 各有意水準における 最小正答数1%欄	<u>46</u>	<u>45</u>
p.139	1行目	$\underline{t^3 - t}$	$(t^3 - t)$
p.139	2行目	$\underline{5^3 - 5}$	$(5^3 - 5)$
p.143	7行目	$x_{ij} \cdot \underline{-}x_{ji} \cdot$	$x_{ij} \cdot \underline{+}x_{ji} \cdot$
p.143	10行目	$\underline{1/2n} \Sigma \Sigma (x_{ij} \cdot \underline{-}x_{ji} \cdot)^2$	$(\underline{1/2n}) \Sigma \Sigma (x_{ij} \cdot \underline{+}x_{ji} \cdot)^2$
p.143	表8-16中	$(x_{ij} \cdot \underline{-}x_{ji} \cdot)^2$	$(x_{ij} \cdot \underline{+}x_{ji} \cdot)^2$
p.143	下から2行目	$\underline{1/n} \Sigma x_{ij}^2 = 161/837/12$	$(\underline{1/n}) \Sigma x_{ij}^2 = 161-837/12$
p.149	2行目	JIS Z9080 官能評価分析 <u>一方法</u>	JIS Z8144 官能評価分析 <u>一用語</u>
p.149	3行目	JIS Z8144 官能評価分析 <u>一用語</u>	JIS Z9080 官能評価分析 <u>一方法</u>
p.184	図9-21上の表 数学の平均	<u>150.1</u>	<u>50.1</u>
p.215	3行目(井上裕光)	千葉県立医療福祉大学	千葉県立保健医療大学

※赤字は23年4月1日以降修正分